

はしき議会だより

令和3年

11月1日発行

2021 NOVEMBER

No.176

主な内容

- 第4回(9月)定例会概要、質疑、議員発議、人事案件、陳情・要望..... 2～4P
- 9月定例会審議結果・賛否一覧..... 5P
- 一般質問 17 議員が市の諸問題を問う..... 6～11P
- 意見交換会(オンライン)の案内...12P



第4回(9月)定例会

9月定例会で次のことが決まりました。

第4回市議会定例会は9月2日招集され、9月28日までの27日間の会期で開催されました。

今定例会には、令和2年度一般会計・特別会計・事業会計の決算認定、条例の制定や一部改正、令和3年度補正予算など32件が提出され、本会議、委員会、特別委員会慎重に審議の結果、原案のとおり承認、同意、可決及び認定しました。

また、議員発議による規則の制定及び一部改正、意見書など5件を可決しました。

今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

岐阜市及び羽島市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

岐阜連携都市圏に加入します。

人口減少・少子高齢社会において活力ある社会経済を維持するため、岐阜市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町と連携・協力します。

問 連携中枢都市圏への加入に当たって、連携による効果は。

答 市が参加を予定する連携事業については、市民や市内企業等に対する行政サービスの拡充や地域情報の発信強化につながるなど、市にとって有益であると考えている。

問 高次の都市機能の集積強化によってコンパクトシティ化が進み、中枢都市に施設が集中することで連携市町に施設がなくなる恐れは

ないか。

答 岐阜連携都市圏ビジョンにおける「高次の都市機能の集積強化」に係る具体的取組みとして、「二次救急医療体制の確保」のほか、岐阜市が実施する「市街地再開発事業の促進」や「名鉄名古屋本線鉄道高架事業」などが位置付けられているが、これらの取組みにより、連携市町の施設や機能がなくなることはつながらないものと考えている。

質疑

決算認定

今定例会に上程された議案のうち、決算認定案件については、予算決算特別委員会において審査しました。

問 財政の安定化対策では財政調整基金を令和6年度で13億円確保を目標としている。令和2年度決算を受けての実施状況の評価は。

答 財政調整基金残高の一定水準確保に向けた歳出削減の取り組みとして、事務事業の見直しや職員給料・期末勤勉手当等の削減などを実施し、令和2年度末で財政調整基金残高は27・6億円となり、目安とする水準を確保している。

問 令和2年度職員人件費は、職員総数何人に対していくら減少し、減少割合はどれだけになるか。1人当たりいくらの減少になるか。

答 財政の安定化対策における給与削減の影響として、令和2年度の職員人件費に係る給与削減額は、市民病院、消防を含む市全体で1億2000万円。市全体の平均減額率は3・2%である。1人当たりの給与削減額は、令和2年4月1日現在の市民病院、消防を含め

た職員数731人で算出すると、年間約16万4000円となる。

問 新庁舎建設事業について、委託料にかかる事業の概要は。

答 新庁舎建設工事(建築・電気設備・機械設備)監理業務委託2979万9000円及び新庁舎建設工事(地中熱設備)監理業務委託23万8000円で、工事の設計図書に基づき工程管理、品質管理等を行うもので、工事監理業務を行う上で、専門的な知識及び技術を必要とすることから、羽島市新庁舎建設工事設計業務委託佐藤総合計画・アートジャパンガヤ設計・川崎建築設計室設計共同企業体と業務委託契約を締結している。新庁舎移転管理等業務委託874万5000円については、新庁舎の供用開始に向け、文書及び什器等の移転計画の策定、移転に伴うレイアウト設計、関連工事業者との調整等を行うもので、移転にかかる総合的な管理・監



完成記念式典を開催

第4回(9月)定例会

督等について専門的な知識や経験、技術等が必要とすることから、株式会社イトーキ中部支社と業務委託契約を締結している。

問 防災訓練開催事業について、コロナ禍における防災訓練の実施状況は。

答 防災訓練については、共催者である地元自治会との協議を行った結果、コロナ禍であっても防災に対する訓練は必要との決定を受け、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練の必要性が高いことから、感染対策を行ったうえで、令和2年9月に北部地区において開催した。

問 ごみ処理広域化事業について、次期ごみ処理施設整備に向け、令和2年度に実施した事業は。

答 次期ごみ処理施設整備事業は岐阜羽鳥衛生施設組合が実施主体となつて事業を進めている。市としては、都市計画の変更決定を行ったほか、環境影響評価業務として準備書の公告縦覧、評価書の作成及び公告縦覧を行い、平成30年度から実施してきた環境影響評価が全て終了した。

問 生活困窮者自立支援事業について、決算額的大幅な増額の理由と扶助費の内容は。

答 新型コロナウイルス感染症に係る生活困窮に対応するため、住居確保給付金の支給要件が緩和されたため、令和元年度1世帯2件だった支給件数が、41世帯189件と増加したことにより増額となった。内容としては、離職や休職、勤務の減少等により収入が減少し、支給要件を満たした世帯に対し、家賃として基準額を支給するものである。

問 地域医療機関等への機能継続交付金事業について、内容と実績は。

答 当事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策の経費増大や受診控えによる経営環境悪化の中で、医療の提供を行う医療機関等に対し、院内感染防止等を支援するため、内科診療所、歯科診療所、助産所及び訪問看護ステーションに10万円、薬局に7万円を交付した。交付実績は938万円で、内科診療所が33機関で330万円、歯科診療所が38機関で380万円、助産所が2機関で20万円、訪問看護ステーションが4機関で40万円、薬局が24機関で168万円である。

問 道路維持管理費について、自治会からの舗装・側溝工事の要望件数、適合件数、実施件数、実施

率は。

答 令和2年度における、自治会からの側溝工事の要望件数は38件で、延長1265m、そのうち、工事実施基準に適合する適合件数は30件で延長995m、工事実施件数は20件で延長236mである。適合件数に対する実施率は66・7%で、適合数量に対する実施率は23・7%となる。舗装工事の要望件数は90件で面積は2万1128㎡、そのうち、工事実施基準に適合する適合件数は86件で2万803㎡、工事実施件数は52件で6452㎡である。適合件数に対する実施率は60・5%で、適合数量に対する実施率は31%となる。

問 情報教育推進事業について、教師・児童・生徒用タブレットの購入状況、賃借料の内容は。

答 タブレット端末については、学習用として児童・生徒用に4855台、教師用に189台購入した。賃借料については、教師が校務用として使うパソコンやサーバシステムのリース料、平成29年度に導入したiPadのリース料、中学校技術の学習で使用するパソコンのリース料である。

問 国民健康保険特別会計について、令和2年6月に創設された国

民健康保険税の減免の実施件数と減免された金額の総額は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免実績は、令和3年3月末現在で149件、1701万2500円である。

問 水道事業会計について、年間給水量が減少した理由と年間有収率が減少した理由は。

答 年間給水量が減少した理由は、節水型の給水機器の普及及び令和2年度初旬の緊急事態宣言などコロナ禍による企業など大口需要家の使用量の減少が影響しているものと考えられる。年間有収率が減少した理由は、小熊水源地内で発生した漏水の影響が大きいと考えられ、漏水を発見した以前から漏水しており、配水量が増えたと考えている。

条例改正

問 羽鳥市教育支援センター条例の一部を改正する条例について、新庁舎に移った後の教育支援センターの職員の配置はどのようなものか。

答 教育支援センターは支援係と少年係があり、少年係には係長と地域連携コーディネーター2名、

第4回(9月)定例会

スクールソーシャルワーカー2名を、支援係には係長と教育相談員2名、教育相談助手2名を配置している。

問 羽島市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について、自動運転車の運行を補助する電磁誘導線や磁気マーカーの設置場所は。

答 電磁誘導線や磁気マーカーは道路の路面上や路面下の地中に設置するものである。

議員発議

●羽島市議会会議規則の一部を改正する規則について

新庁舎の議場で電子採決システムを導入するため、規則を改めました。

●羽島市議会傍聴規則について
新庁舎の議場における傍聴席の区分と定員を規定しました。

●羽島市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について

●羽島市議会議員防災服等貸与規則の一部を改正する規則について

本人確認のための押印を不要とするため、条例と規則を改めました。

●コロナ禍による厳しい財政状況

に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

地方税制の充実確保を求め、関係行政機関に意見書を送付しました。

人事案件

羽島市教育委員会委員に

今井田 裕子さん(正木町)

委員の任期満了に伴い、今井田さんを新たに任命したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

陳情・要望

9月定例会で受理した陳情・要望は次の2件です。

・辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

・人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること
受理した陳情・要望は本会議で報告され、全議員に陳情書の写しを配布しました。

市議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、11月30日(火) 午前10時開会の予定です。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

次回定例会からLIVE中継が始まります。

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima/WebView/rd/council.html>



聴覚に障がいのある方も議会を傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。また、音が聞き取りにくい方へFM受信機とヘッドホンを貸し出します。



羽島市議会
公式Facebookページ



マチイロ

はしま議会だよりを
アプリで配信

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会
会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会
議 会 中 継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima/WebView/rd/council.html>



第 4 回（9 月）定 例 会

第4回（9月）定例会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件 名	結果	議案番号	件 名	結果
報第 3 号	専決処分の報告について（専第14号 損害賠償の額を定めることについて）	—	認第 1 号	令和2年度羽島市一般会計歳入歳出決算の認定について	○
報第 4 号	令和2年度羽島市健全化判断比率の報告について	—	認第 2 号	令和2年度羽島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○
報第 5 号	令和2年度羽島市資金不足比率の報告について	—	認第 3 号	令和2年度羽島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
報第 6 号	放棄した債権の報告について	—	認第 4 号	令和2年度羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
承第 13 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第15号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第8号））	◎	認第 5 号	令和2年度羽島市インター北土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
承第 14 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第16号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第9号））	◎	認第 6 号	令和2年度羽島市駅北本郷土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	◎
承第 15 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第17号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第10号））	◎	認第 7 号	令和2年度羽島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○
承第 16 号	専決処分の報告並びにその承認について（専第18号 令和3年度羽島市一般会計補正予算（第11号））	◎	認第 8 号	令和2年度羽島市病院事業会計決算の認定について	◎
議第 59 号	羽島市教育委員会委員の任命について	◎	認第 9 号	令和2年度羽島市水道事業会計決算の認定について	◎
議第 60 号	羽島市行政財産の目的外使用に係る使用料徴収条例について	◎	認第 10 号	令和2年度羽島市下水道事業会計決算の認定について	○
議第 61 号	羽島市教育支援センター条例の一部を改正する条例について	◎	議第 69 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第13号）	○
議第 62 号	羽島市福祉ふれあい会館条例の一部を改正する条例について	◎	議第 70 号	令和3年度羽島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	◎
議第 63 号	羽島市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について	◎	議第 71 号	令和3年度羽島市介護保険特別会計補正予算（第2号）	◎
議第 64 号	羽島市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	◎	議第 72 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第14号）	○
議第 65 号	岐阜市及び羽島市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について	○	発議第4号	羽島市議会会議規則の一部を改正する規則について	◎
議第 66 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第12号）	◎	発議第5号	羽島市議会傍聴規則について	◎
議第 67 号	令和3年度羽島市病院事業会計補正予算（第2号）	◎	発議第6号	羽島市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議第 68 号	工事請負契約の締結について	◎	発議第7号	羽島市議会議員防災服等貸与規則の一部を改正する規則について	◎
			発議第8号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	◎

議案の賛否一覧

※賛否が分かれたもののみ掲載しています。

審議結果：◎…可決 ×…否決 賛否状況：○…賛成 ●…反対 議…議長のため採決に加わらない 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥		審議結果	南谷清司	柴田喜朗	栗津廣明	毛利次弘	後藤一弘	原柳雅裕	川井智子	野口佳宏	南谷佳寛	豊島保夫	堀川隆和	藤川貴雄	山田紘治	花村隆	糟谷玲子	星野明	近藤伸二
議案番号	件 名																		
議第 65 号	岐阜市及び羽島市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
認第 1 号	令和2年度羽島市一般会計歳入歳出決算の認定について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
認第 2 号	令和2年度羽島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
認第 7 号	令和2年度羽島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
認第 10 号	令和2年度羽島市下水道事業会計決算の認定について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
議第 69 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第13号）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○
議第 72 号	令和3年度羽島市一般会計補正予算（第14号）	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	○	○

令和3年
9月定例会

一般質問

17議員が市の諸問題を問う！

1 後藤 國弘 議員 6 ↑	10 南谷 佳寛 議員 9 ↑
2 近藤 伸二 議員 6 ↑	11 山田 紘治 議員 9 ↑
3 柴田 喜朗 議員 7 ↑	12 藤川 貴雄 議員 10 ↑
4 原 一郎 議員 7 ↑	13 毛利 廣次 議員 10 ↑
5 豊島 保夫 議員 7 ↑	14 南谷 清司 議員 10 ↑
6 花村 隆 議員 8 ↑	15 栗津 明 議員 11 ↑
7 星野 明 議員 8 ↑	16 安井 智子 議員 11 ↑
8 堀 隆和 議員 8 ↑	17 野口 佳宏 議員 11 ↑
9 川柳 雅裕 議員 9 ↑	

※一般質問については議員の責任において掲載しております。
内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。



ごとう くにひろ
後藤 國弘
自民清和会

新型コロナについて

問 ワクチン接種の効果については、重症化、死亡者数の減少に表れていると考えられる。希望する人に迅速に接種できるよう今後の取り組みと、コロナ禍における市民病院の経営について市の考えは。

答 今後の接種計画としては、10月23日に2回目接種を完了し接種率83%を見込んでいる。10月24日以降については新たに12歳になる方を中心に接種し令和4年2月28日まで、ワクチン供給に応じた接種体制を進めていく。市民病院の経営については、令和2年度は経営努力等により約5200万円の純利益を計上した。また医療従事者の確保について、令和3年度は医師数を増加するとともに10月には麻酔科医を採用予定。看護師も新年度採用が計画通り進んでいる。

防災について

問 今回小熊町・新生町が内閣府の地区防災計画モデル地区に選定された。市の取り組みは。

答 危機管理課職員が地域と内閣府及び県との連絡調整を行うなど、計画策定に向けた支援やサポートを行っていくほか、自主防災組織リーダー研修会などにおいて、地区防災計画策定に向けた取り組みを促進していく。



こんどう しんじ
近藤 伸二
自民クラブ

消防署職員の退職について

問 令和3年3月末までの消防署職員の途中退職者が、令和2年3月末と比べると増加傾向にあるが、過去5年間の職員の採用人数、退職者と年齢構成は。

答 採用人数は、平成29年度・30年度・31年度は2人、令和2年度は0人、3年度は2人である。退職人数は、平成28年度1人、29年度3人、30年度1人、31年度1人、令和2年度5人である。なお、令和2年度に退職した職員の年齢構成は、50代1人、30代1人、20代3人である。

問 近年の災害、防災活動は。

答 緊急消防援助隊については、岐阜県大隊第一次派遣隊、第二次派遣隊合計6人の職員が、静岡県熱海市伊豆山地区での土砂災害救助活動に従事した。過去には、東日本大震災にも派遣され、合計9人の職員が15日間、捜索活動や救急活動に従事した。水難救助活動については8月11日、12日及び27日の3日間で、合計27人の職員が、要救助者の捜索活動に従事した。

問 退職者の減少に向けての取り組みと職員増員については。

答 自己都合退職は、家庭の事情が大半を占めていると聞き及んでいる。現在の実員数で、不足の状態には至っていない。



しばた よしろう

柴田 喜朗

市政自民クラブ

医療保険制度に係るマイナンバーカードの利用について

問 マイナンバーカードの保険証利用が始まるが、その利便性と利用促進をどう行うか。

答 医療機関等でオンラインによる保険加入情報や自己負担限度額区分の確認ができる為、正確な資格情報が把握でき受付事務の効率化が図られる。保険証として利用するには、各自が事前にマイナンバーカードを通じて利用登録の必要がある。希望者に対して、保険年金課窓口等で登録サポートを行っている。

問 マイナンバーカードを利用して薬剤情報、医療費通知情報が閲覧できるようになるが、そのサービスの詳細は。

答 薬剤情報については、いつ、どこで、どんな薬を処方されたかという情報が、本人や医師及び薬剤師が本人の同意をもとに閲覧できるようになる。効果的な医療提供、災害時等の迅速な治療につながるものと期待され、過去3年分の情報が蓄積される。また医療費通知情報は本人のみが閲覧でき、診療年月や医療機関名、窓口負担額等が確認でき、こちらも過去3年分の情報が蓄積される。併せて特定健診情報も閲覧可能で、今後の健康管理についてご自身で考えていただく機会になるものと考えている。



はら いちろう

原 一郎

公明党

災害に強い街づくりについて

問 近年、線状降水帯による大雨、大型台風の襲来など全国各地で気象変動の影響による大規模災害が相次いでいる。現在、気象庁では防災気象情報が住民の的確な防災行動に結びつくよう、行政機関と一体となつて、地域の気象防災に貢献する取り組みを進めていると伺っている。市と岐阜地方気象台との連携状況は。

答 令和2年度から岐阜地方気象台では「地域の防災に一層貢献するための取り組み」として、水害対策気象官をリーダーとする「岐阜・西濃地域防災支援チーム」が編成され、サポート体制を強化している。同チームの訪問を受け、危機管理課職員と岐阜地方気象台と顔の見える関係を構築している。また、大雨・台風などの災害が予想された場合には、24時間対応の気象台ホットラインを活用することにより、最新の気象情報を入手し、災害時には市長に直接情報提供される体制となっている。



問 気象防災力向上のため、地域の気象情報に精通する気象台OB・OGからなる「気象防災アドバイザー」を活用してみたい。

答 新しい制度のため、岐阜地方気象台とも連携し活用内容について、調査研究を行っていく。



とよしま やすお

豊島 保夫

元気・羽島クラブ

羽島市高齢者計画「現状からみて」について

問 高齢者からの相談と対応は。

答 地域包括支援センターをはじめ、社会福祉協議会、民生児童委員等の地域関係団体と引き続き連携していくとともに、新庁舎内に総合相談窓口を設置して、その充実に努めていく。

問 見守り、行方不明への対応は。

答 見守りSOS事業の登録者数は、令和3年3月末時点で14人であったが、8月末時点では18人と増加している。令和3年度からは、認知症での徘徊等による事故等であんしん補償事業を創設し、8月末現在で13人が利用している。

羽島市高齢者計画「基本施策の推進」について

問 地域包括支援センターの機能強化は。

答 第8期高齢者計画期間中に1カ所を増設し、2025年に向け、段階的に3カ所の増設を目指すことで、相談機能の充実を図る。

問 高齢者の権利擁護と成年後見制度への取り組みは。

答 令和3年度中に羽島市成年後見制度利用促進基本計画を策定、併せて判断能力が不十分な人の生命、身体、財産等の権利を擁護するための中核機関を立ち上げ、利用の促進を図る。



はなむら たかし
花村 隆
日本共産党
羽島市議団

災害対策について

問 おおむね1000年に一度程度起きると想定される降雨に伴う木曾川及び長良川の洪水によつて、水につかる避難所はどこか。その場合に避難場所として使える場所は何力所で収容人数は何人か。

答 想定しうる最大規模の降雨において浸水する避難所は、ハザードマップ上はすべての避難所が該当する可能性がある。洪水時に避難場所として使用可能な場所は指定避難所、緊急避難所の学校校舎など3階以上の建物、羽島高等学校及び羽島特別支援学校の2階体育館、防災ステーションとしており、18施設、収容可能人数は約5500人となっている。

問 災害備蓄倉庫は洪水の時にも活用される必要があるが、どこも地面に近い位置に設置されている。水害時には水につかる恐れがあるので、高所に備蓄をする必要がある。高所へ備蓄品の場所を変更することについてどう考えているか。

答 備蓄倉庫は毎年の入れ替え時や災害時に出し入れしやすいこと、地震による被害で搬出できない状況にならないことを考慮して、地面に近い位置に設置している。



ほしの あきら
星野 明
明栄神

小中学校について

問 小中学校の通学路の現状と問題点は。

答 羽島市立学校の通学路については、これまでも通学路安全推進会議を設置し、毎年危険箇所点検や安全対策を講じてきた。千葉県で発生した痛ましい交通事故を受け、令和3年度は各学校において例年1回実施している危険箇所調査を、事故直後に2回目を実施している。通学路の問題点として令和3年度検討したのは30カ所となり、主なものとしては、横断歩道を渡った後にガードレールが途切れる箇所や、角に家があるため自動車の通行が見えにくい道路、左右の見通しが悪く道幅も狭いため歩行するときに危険を感じる交差点などである。

問 水泳授業の今後の在り方、基本方針は。

答 水泳授業については令和4年度以降も新型コロナウイルス感染症等の状況を注視しながらの実施となることを想定しているが、水泳授業の民間委託についても同様に考えている。本来水泳授業は、浮いて進む運動や、もぐる・浮く運動、クロールや平泳ぎなどの運動について、泳ぐ楽しさや喜びを味わいながら技能を身に付けていくものであり、小学校や義務教育学校前期課程では、プールを利用した通常の水泳授業も想定しながら実施計画を立てていきたい。



ほり たかかず
堀 隆和
正統派クラブ

家庭系ごみの有料化とごみ処理について

問 家庭系ごみの有料化にともなつて、どれ程の収益が見込まれるのか。

答 可燃ごみは約5900万円、不燃ごみは約1800万円、粗大ごみは約200万円である。合計で年間7900万円を見込む。

問 令和2年度の家庭系ごみの処理経費は。

答 可燃物処理費用が6億2114万5千円、不燃物処理費用が4億2694万7千円である。

問 粗大ごみの戸別収集は、業者により収集運搬費がまちまちである。岐阜市、笠松町などは、自己搬入の2倍である。羽島市も2倍としては。

答 収集運搬の条件が異なることから、市が目安となる金額を示すことは困難である。

羽島市民病院の経営について

問 市民病院の常勤医師数は。

答 過去3年分の4月1日時点の人数は、平成31年が29名、令和2年が25名、令和3年が23名である。なお、7月から放射線科医師1名を採用し、10月から麻酔科医師1名の採用を予定している。



多いごみ・9月下旬



かわやなぎ まさひろ
川柳雅裕
元気・羽島クラブ

市民の期待集まる市役所新庁舎について

問 いよいよ新庁舎が開庁する。ワンストップ窓口や総合窓口が求められるが、市民にとって何がどのように便利になるのか。

答 「迷わない」「歩かない」「書かない」をコンセプトに必要な手続の案内一覧がお渡しできるほか、申請書記入の負担を軽減するために、あらかじめ住所や氏名等が印字された申請書が提供できるようになる。

問 市民にやさしい窓口を目指すなかで、例えばバスポートの申請に必要な「収入印紙」など証券類も新庁舎内で販売されることが望ましい。また、人が集いやすくなり、賑わいがある新庁舎として、献血車やキッチンカーが停められるスペースはあるか。

答 庁舎周辺の利用状況を見て考えていく。

問 新しい議場は傍聴がしやすくなると聞く。夜間・休日議会が開催できるのか、見極めたい。新しい議場の特徴は。

答 車いすスペースを確保し、特別傍聴室も設けられる。

問 働く職員の皆さんの意見は、どのように取り入れられたか。

答 全職員あがてのアイデアを活かした形で新庁舎建設に取り組んできた。



みなたに よしひろ
南谷佳寛
自民清和会

子供たちのスポーツ振興について

問 中学校のスポーツ部活動指導者の考えは。

答 令和3年度、スポーツ庁の地域運動部活動推進事業の指定を受けるとともに、竹鼻中学校がなごみスポーツとの連携協力により部活動の地域移行に取り組んでいる。「好きなスポーツにもっと取り組みたい」という生徒の願いに基づく持続可能な部活動を推進するとともに、時間外勤務の削減など教員の働き方改革を目指している。今後、竹鼻中学校以外の4校でも休日の部活動の段階的な地域移行を目指し、総合型地域スポーツクラブの状況、指導者の確保等の課題を踏まえて学校や地域の関係者と連携しながらより良い方法を検討し取り組んでいく。

戦没者慰霊祭と遺族会の今後について

問 遺族の高齢化に伴い今後の存続について。

答 市遺族連合会からは、会員の死亡、後継者の不在、高齢化等による活動の低下が課題であるのご意見がある。市としては戦没者追悼式を挙行し、先の大戦で亡くなられた戦没者を追悼するとともに、市遺族連合会に補助金を交付し遺族の福祉の向上を図るための活動の支援を継続していく。



やまだ こうじ
山田紘治
自民クラブ

現市庁舎の保存について

問 現本庁舎は羽島市出身の建築家坂倉準三氏の設計であり、建築から62年の歳月がたつてはいるものの、過去には日本建築学会賞を受賞し、さらに国際的組織の日本支部であるドコモ・ジャパンからは、ドコモモ100選にも選ばれ、建築界等で、後世に残したいモダンイズム建築とされている。そして現本庁舎の資料に関しては文化庁国立近現代建築資料館に保管されていると聞き及んでいる。そのように現本庁舎は全国的にも注目されている建築物であり、保存して活用するだけの価値の高い建物である。将来、歴史・文化を活かした街づくりを推進していく上において、現本庁舎は重要な役割を担うものであると考えるが、今後現本庁舎を活用した場合の耐震費用について、また仮に解体の場合の試算はいくらか。

答 現本庁舎の耐震補強工事の概算は外観及び内装に影響を及ぼし、最も安価な工法である「枠付鉄骨ブレース工法」や「鉄筋コンクリート壁増設工法」を採用した場合、耐震補強工事費に、IS値0・75相当の場合4・7億円、IS値0・9相当の場合5・7億円を要する。解体費用は旧庁舎あり方検討委員会でも明示を求められており、現在費用を精査しているところである。



ふじかわ たかお

藤川 貴雄

自民清和会

新庁舎の開庁に向けて

問 新庁舎における窓口体制と業務シミュレーションは。

答 総合窓口やおくやみ窓口では事務手続きの増加が想定される。窓口の混雑と職員の負担増を防ぐため、



新庁舎外観

会計年度任用職員を含めた職員の増員を予定。市民課コンシェルジュは市民課会計年度任用職員などの実務経験者を配置し、現場で培った知識を活かした的確な案内ができるようにする。

問 避難誘導など、訓練の予定は。

答 新庁舎における不審者対応訓練については、県警本部・岐阜羽島警察署との共同訓練を開庁前の10月下旬に実施する。不審者の侵入に対し、職員が県警本部に通報する訓練や県警機動隊による不審物回収訓練を実施。避難誘導訓練については、庁内の防火管理者や火元責任者を中心とした訓練を、11月の開庁前までに実施する。

問 市民活用スペースの利用方法は。

答 市民活用スペースは、公益性や社会貢献性のある活動を行っている市民団体や福祉団体、伝統文化継承団体を市が認定し、予約制で貸し出しを行う予定。利用料は無料。利用日は原則として平日午前9時から午後5時までの予定。



もうり ひろつぐ

毛利 廣次

市政自民クラブ

今後のスポーツの在り方について

問 東京2020オリ・パラは感動の中無事に閉会した。市では、テコンドー日本代表最終選考会の開催やモアフェンシングクラブ出身選手のオリンピック出場、プロ野球では、吉川尚輝選手の長良川球場での大活躍などがあるが、今後のスポーツの技術向上のための施策については。

答 市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、トップアスリート育成支援事業を周知・推進し、一流選手とのふれあいなどスポーツに対する憧れを育むとともに、指導者の研修の場としていただきたい。

市の憩い・集いの場について

問 市内の都市公園は75カ所あるが、町内別ではかなりのばらつきがある。今後の新設や整備についての考えは。

答 平方第二土地地区画整理事業で編み出された2カ所が整備予定、未利用地は公園整備も含め、土地活用を慎重に検討している。

問 桜堤サブセンター建設・整備状況は。

答 堤外地は平成27年一部開園、令和元年にバーベキューエリアを整備、堤内地については盛土工事が実施され、引き続き早期開園に向けて計画的に事業を進めていくと聞いている。



みなたに きよし

南谷 清司

自民清和会

情報通信技術を活用できる学校について

問 GIGAスクール構想で配付されたiPadが壊れてしまったときの修理はどのような。また、家庭学習のための持ち帰りの見通しは。

答 修理期間中に代用品を貸し出す。修繕費も予算化している。故意に破損等した場合には保護者に負担をお願いする場合がある。家庭において学習ニーズに応じた効率的・効果的な学習ができるよう全ての学校で持ち帰りを進める。

問 各学校で使用している授業支援アプリ「ロイノート」には、先生から「予算措置がされていないので無料キャンペーンを利用しているらしい。作成した教材や学習データなどの蓄積が無駄にならないか心配。」という声が聞こえてくる。先生の不安への対応は。

答 令和4年度に向け継続的活用について検討。

問 学校には学習用と教務用のネットワークがあるが、iPadとパソコンを使い分けたり場所を移動したりする必要があるし不便で生産性が低い。改善するために、国のデジタル庁設置のように、市長部局で、教育委員会等も含めDX推進や情報機器の整備運用について一括して担当する体制にすべきと思うがいかがか。

答 部門間の一層の連携強化を図る中で、効果的かつ効率的な管理運用体制について検討する。



あわづ あきら

栗津 明

自民クラブ

最近の執行部の考え方について

問 小熊コミセン駐車場の賃料は年間200万円支払っている。近隣であれば数年分で購入できる。財政のことを考慮すれば購入すべきである。民間の会社であれば賃料は高くても経費で処理することができるが市はできない。市役所駐車場も今後十年も借り続けるなら高いものになってしまいが、これこそ市長権限を発揮して購入すべきではないか。

答 賃貸借契約にすることで年度ごとの財政負担の平準化が図られ、単価の交渉や解約等できる。

次期ごみ処理場建設早期稼働について

問 ごみ処理費用は平成27年度と令和元年を比較すると約4億8千万円増額になっている。城屋敷地区の建設計画は7年間で稼働の予定であった。平方地区は土地購入も終わっているにも拘らずこれから6年も先である。昨年、市長は岐阜市長とトップ会談し建設が1年早くなった。これから1年でも早まれば合計約8億円以上負担が少なくなると思われるが、市長の見解は。

答 岐阜羽島衛生施設組合が実施している事業であり、市としては今後も事業推進に協力していく。



やすい ともこ

安井 智子

自民清和会

交通安全対策について

問 市内全域の通学路整備計画はされているか。

答 「羽島市通学路交通安全プログラム」を平成26年度に策定し通学路の整備を実施。対策効果を検証、対策の改善・充実を図る取り組みを毎年継続している。

問 通学路の危険箇所調査の結果及び対策の進捗状況は。

答 令和3年度の調査で対象となった危険箇所35カ所中、30カ所が対策済み。残りはカラー塗装や横断歩道の塗り替え、ガードパイプの設置などを令和3年度中に実施予定。

問 ゾーン30の整備状況は。

答 正木小・竹鼻小学校区の学校周辺道路に整備。整備対策候補箇所は、学校や保護者地域の方々の意見も踏まえ関係機関において検討していく。

問 交通安全対策の推進のため、部局横断的なワーキングチームの立ち上げについての考えは。

答 総合的な交通安全対策の構築を図る観点から、現在の組織連携の整理や仕組みづくりから検討していきたい。他自治体での先進的な取り組み事例等を情報収集し、調査研究を行い、関係部局との協議を進め、その結果を踏まえ、交通安全対策推進協議会において、効果的な施策について協議・検討を行っていきたい。



のぐち よしひろ

野口 佳宏

自民清和会

市民サービスのデジタル化について

問 学校アプリの機能は。

答 学校アプリの機能を調査研究したところ情報配信時の既読確認及び未読者への再通知機能や保護者向けデジタルアンケートの多様な機能、情報配信の必要なグループ、例えばPTAやコミュニティ・スクールを設定し効果的に情報交換を行う機能、外国人児童生徒の保護者への翻訳機能など保護者・地域の方にとって利便性が高い機能や欠席・遅刻連絡のデジタル化により電話連絡などの時間を短縮し、教員の働き方につながる機能を有するアプリが複数開発されている。また、保護者や地域の方が専用アプリを利用できない場合でも、アプリからメール機能により情報配信できることを確認している。

問 学校アプリ導入に向けての検討は。

答 現在、各学校や教育委員会では「すぐメール」を活用し、情報のメール配信やアンケートの実施、画像の送信を行っている。今後、この「すぐメール」からより多様で効果的な機能を有する学校アプリへ変更することについては、教職員の負担軽減や保護者、地域の方々と迅速で確実な情報共有などが期待されますが、改めて学校関係者から意見を聴取し、令和4年度からの導入に向けて検討する。

羽島市議会意見交換会（オンライン開催）

「未来の羽島市はこんな姿になっていて欲しい」
をテーマに市議会議員と参加者で意見交換を行います。

開催日時 11月21日(日) 午後2時から(1時間程度)

参加申込

11月10日(水) までに「羽島市議会意見交換会」で検索し、ホームページ上の申し込みフォームから申し込みください。また、右のQRコードを読み込むことで、直接申し込みフォームにアクセスできます。



参加方法

当日の参加に必要なURLとパスワードを、後日メールに送信いたします。

スマホの場合、あらかじめ専用アプリ「Webex Meetings」をダウンロードしてください。

11月14日(日) 午後2時にテスト配信を行います。メールに送信されたURLにパスワードを入力の上ご参加ください。

意見交換会当日も同様に、URLにパスワードを入力の上、ご参加ください。

注意事項

コンピュータ操作、インターネット接続、映像、音声等のトラブルなどの対応はできませんので、ご了承ください。

オンライン参加に関する通信料は自己負担となります。

新庁舎の議場へ傍聴にお越しください

11月1日に市役所新庁舎がオープンし、次の議会からは新しい議場で開催されます。新しい議場では傍聴にお越しの方がより利用しやすくなりました。



《特別傍聴室》

お子様連れの親子などが周りに遠慮することなく議会を傍聴できるよう、個室の傍聴席を設けました。



《傍聴席》

座席や前後の幅を十分に取り、ゆったりと議会を傍聴することができるようになりました。また、車いす用のスペースを設けました。

発行：羽島市議会

〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>

編集：広報広聴委員会